

福山・笠岡地域公共交通活性化協議会 第3回福山地域部会 会議録（要旨）

1 日 時

2018年（平成30年）2月14日（水）10:00～10:30

2 場 所

福山市役所 6階 60会議室

3 出席者

(1) 委員（18名）

渡邊寛人委員，渡辺徹委員，神原昌弘委員，吉本伸久委員，加藤勇樹委員（代理 小林一成），岡森正人委員，山田進一委員（代理 山田康文），堀江豊委員，武田和史委員，高延泰寛委員，和田秀俊委員，藤井智恵子委員，藤井孝紀委員，渡邊一成委員，橋本実千寿委員（代理 重長誠），木村洋委員（代理 寺口真耶），山脇敬治委員，岡本浩男委員

(2) 事務局（4名）

神田都市部長，大谷建設管理部参与，神園都市交通課長，戸田課長補佐

(3) 傍聴者（0名）

4 会議の成立

委員20名中，代理出席を含め18名出席で，委員の過半数が出席しているため，福山・笠岡地域公共交通活性化協議会規約第7条第2項の規定により会議が成立

5 協議事項

(1) 議事

①福山・笠岡地域公共交通網形成計画に基づく路線バス見直しの取組について

6 資料

- ・次第
- ・出席者名簿
- ・配席図
- ・福山・笠岡地域公共交通活性化協議会第3回福山地域部会 会議資料（協議事項）
- ・情報提供「県内初！！自動走行実証実験をスタートします！」

7 協議内容

(1) 部会長挨拶

おはようございます。私毎になります。福山に来てもうじき4年が終わろうとしています。福山はこんなにも寒いのかと、毎日毎日思うところですが、地元の方に聞くと、これだけ寒い福山は、50年生きてきたけれど初めてだという方も結構多いくらいに、今年はかなり厳しい寒さを福山でも迎えているようでございます。その中であって、路面の凍結や降雪など、関係各位にはご尽力いただいているかと思っております。ありがとうございます。

一方、昨年度から駅周辺の開発について動いてきているところですが、そんな動向の中で、公共交通をどうするかは非常に重要な問題だと思っております。ある意味、駅前が変わることは公

公共交通を皆さんに利用していただくいいチャンスなんじゃないかと思っておりますので、そういったことも含めていろいろと取り組んで行きたいと思っておりますし、皆様にご協力いただければと思っております。よろしくお願いいたします。

(2) 議事

①福山・笠岡地域公共交通網形成計画に基づく路線バス見直しの取組について

部会長：それでは、会議を進めさせていただきます。初めに、次第の2番「議事」の「福山・笠岡地域公共交通網形成計画に基づく路線バス見直しの取組」について、事務局から説明をお願いします。

事務局：資料より説明。

部会長：はい、ありがとうございました。ただ今の説明につきまして、ご意見、ご質問等がございましたらお願いいたします。

委員：6番に尾道市と継続協議とありますが、3番の常金丸については府中市との協議はどのようにされているのでしょうか。

事務局：3番の常金丸については府中市とも協議しております。内容については、了承いただいております。

部会長：ありがとうございます。他はいかがでしょうか。地元との協議というのは、具体的にどのような方とどんな協議をされているのでしょうか。

事務局：昨年7月以降、基本的には地元の学区の役員に連絡をとり、多いところで役員十数名の方に集まっていただき、バス路線の現状や網形成計画の内容などの基本的なことについて説明し、収益率15%を下回っていることから、実際に利用していただけるようにするためにどうするのが良いのかについて地域に投げかけ、協議をしております。必要に応じて、アンケートの全戸配布を行った地域もありますし、地域ごとにそれぞれの形で協議をしていただくといった状況です。

部会長：学区の役員の方はまだ比較的元気で、車を運転できるのでバスのことはあまり考えていない、利用者は困っているけれど役員は把握していない、という話を聞いたことがあり、それが一番危惧される場所です。今回の場合も、利用する人は限定されているので、利用者がわかっているのであれば、そういう方の意向がどうなのかがすごく大事なのかなと思います。もちろん役員の方が把握されていて、お答えいただいているところもあると思いますが、意外とそうでないところもあると思うので、そのあたりは留意いただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

他はいかがでしょうか。

委員：4番の乗合タクシーの導入ということで、福山市では神辺で導入されていると思いますが、今回新たに導入される方法はどのようなものをお考えおられるのか、お考えがあれば教えていただければと思います。

事務局：現在神辺町の2学区で導入している乗り合いタクシーは、路線を定めて予約方式で運行する形をしております。基本的にはそれを考えております。デマンド式にするのは誰も乗っていないのに走るという空便をなくすということであり、予約が面倒くさいというのがありますが、基本的にはそういう方向で検討しております。

部会長：他はいかがでしょうか。

事務局：今回見直しの取組で、7路線については住民の方と話し合いながら、一部区間を廃止するとか、本数を削減するといった形で、何とか収益率15%を改善していこうという取

組をしています。しかし、数年経って、また乗らないという状況が起きると、見直しということになりますので、3月の本会議には、見直しと合わせて、行政でできること、事業者でできること、住民でできることなど、公共交通を守っていこうという利用促進についても、3者でアイデアを出しながら、こういったことに取り組んでいきたいという利用促進の議論させていただきたいと考えていますので、引き続きよろしくお願いたします。

部会長：他はいかがでしょうか。他に意見がないようですので、この議案につきましては挙手による決議に移らせていただきます。福山・笠岡地域公共交通網形成計画に基づく路線バスの見直しの取組について、ご承認いただける方は挙手をお願いいたします。

(全員挙手)

部会長：ありがとうございます。挙手多数と認めますので、事務局提案どおり承認することといたします。本日ご議論いただいた内容につきましては、3月26日に予定しております福山・笠岡地域公共交通活性化協議会に報告させていただきたいと思っております。よろしくお願いたします。

今、事務局からもお話がありましたように、利用促進はとても大事なことだと思いますので、これからも見直しをしながら、是非とも利用促進をする中で、何らかの公共交通を残す形で、関係各位が取り組んでいければと思っております。よろしくお願いたします。

以上で本日予定しておりました協議は終了となります。

(3) その他

部会長：次に、次第の3番「その他」でございます。委員の皆様方から何かご意見等がありましたらご発言いただきたいと思いますのですが、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、事務局の方からお願いたします。

事務局：「県内初！！自動走行実証実験をスタートします！」という見出しの資料をお願いします。本市において、県内で初めて自動走行システムを活用した実証実験を開始することとなり、昨日、報道機関の皆様へ、情報提供した資料を添付させていただいております。(資料を説明)

部会長：ありがとうございました。他には何かございますでしょうか。特にご意見がないようですので、以上をもちまして、議長の役目を終わらせていただきます。委員の皆様には、円滑な議事運営にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。それでは、進行を事務局にお返しします。

事務局：部会長、大変ありがとうございました。

以上をもちまして、福山・笠岡地域公共交通活性化協議会第3回福山地域部会を閉会いたします。委員の皆様には誠にありがとうございました。利用促進につきましてはそれぞれのお立場で相談させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

以 上